

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室ことのは5号館		公表日		令和 8年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	4	能力や体格に合わせ、活動場所を分けて対応しております。	ダイナミックな動きを求める児童に対して、対応できる活動の提案を行ってまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	5		児童数とスタッフ数を確認しながら、活動内容を分けたりする事で安全で質の高い療育が提供出来るように取り組んでまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	4	屋内環境は構造化を進め、児童の活動が行いやすい配置を検討しています。屋外チームは活動の目的を伝え取り組む事で児童の動きがスムーズとなっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	4	整理整頓を心がけ心地よく過ごせるように配慮しています。	定期的な玩具や環境の見直しを行い、掃除を行い清潔を保てるように取り組んでまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	こども達が好みに応じて部屋を歩き来できるように環境整備をしています。	死角になる部分が多く事故防止に配慮が必要です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	3	終礼等での意見があった際には職員間で協議を行い確認を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	4		保護者評価を受け改善に繋げて行きたいと感じております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	毎月管理者と面談する機会があり、必要に応じて業務改善に繋げております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		12			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	4	毎月法人内にて情報交換会があり研修の共有等を行っております。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	支援プログラムを事業所に掲示及び、保護者への配布を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	保護者やこどもの意見を聞き取り計画書へ反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保育士等多職種にて協議を行い、児童発達支援管理責任者が計画書を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	職員間にて協議して計画書を作成しているので計画に沿った支援ができています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3		他職種が支援に加わる為、標準化された検査を導入し、支援を質を保つ努力をしています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0		各個人での活動提案が見られています。今後はチームでプログラムの提案が出来るよう時間を設けたいと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	屋内・屋外の活動を固定のメンバーではなく、児童の組み合わせを変更しながら対応しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	個々の児童に合わせた支援を検討し計画書を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	4	新入職員や時給制職員を含む全職員で日々確認してに対して、積極的な声掛けを行い支援内容や注意点などの確認を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2	昼礼や終礼で振り返りを行い、重要内容に関しては事業所内でのグループLINEなどの共有ノートを使用し情報の共有を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		記録を徹底して行い、次回の支援につながるように活用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	定期的に支援会議にて記録の確認を行いながら見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	12	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1	活動を複数提案し、児童が要望（自己決定）を伝える事が出来るよう支援を工夫して実施しております。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	管理者や児童発達支援管理責任者が情報を聞き取り、会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	3		情報共有を密にしながら、送迎時間変更の把握や児童の体調把握などに尽力していきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	0	必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	0	小学校低学年の児童を対象としている為実績はありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	3		現在連携は少ないですが、機会を増やして良い連携を図りたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	0	公共施設での活動を行い、地域児童との交流機会も増えています。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	0		機会があれば参加を検討したいと思います。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	日々の活動内容を報告する際に課題等の共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約時に管理者より説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	日々、課題等の確認を行っており、意向についても配慮を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	児童発達支援管理責任者より説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	相談があった際には都度対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	8		今後保護者会交流として、ワークショップを計画しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	ご意見があった際には、職員間にて周知したうえで書面に残し、改善に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	定期的にInstagramにて活動を紹介しております。	Instagramの更新を意識しながら、活動の発信や取り組み内容の報告などを行っていますように努力しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	施錠できる棚への保管等を行い、職員間での情報のやり取りも配慮しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6		事業所への招待は行っていませんが地域の活動には参加できるように心がけていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	有事の際に対応できるように事業所内にて管理しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	業務継続計画を作成し、年に2回避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	服薬依頼書を保護者へ記入して頂き職員間にて共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	直接保護者より聞き取りにて把握しています。	指示書の控えを必要に応じて常備保管しています。一年毎の更新をしていくよう心掛けております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	計画書を作成し、定期的に更新や点検を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	昼礼や終礼にて、状況を再現しながら確認。再発防止に向けた話し合いをもとに書面に残しております。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		児童への対応について、各個人で確認している事が多いです。共通認識を増やす為にも研修を取り入れたいと思います。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	事例が発生した際には法人内の身体拘束適正化委員会にて対応を協議しています。	